立西巻き



尼崎市立立花西小学校
2026.10.29（木）
No.25

［校長先生つぶやき、つぶやく（校長だより）］

今日は、なんか早く来ました

朝７時半。正門前に、６年生が３人いました。学校のルールでは、８時から８時15分の登校のはずです。尋ねてみると「今日は、体育大会で、なんか早く来ました。」とのことでした。

登校ルールがありますが、今日は、子どもたちにとってスペシャルな日なのだな、ワクワクがとまらないのだなと、共感できました。門の前で気を付けて待つよう伝えると、3人は、にこにこと「はい。」と素直に開門時間を待っていました。

雨天延期となっていた体育大会。待ちに待った体育大会。仲間とこれまで、学び、練習してきた成果をようやく発揮する場がやってきました。当日のがんばりはもちろんのこと、当日に至るまでの過程をも美しく感じます。練習中は、時に叱られ、励まされる日もあったでしょう。日を追うごとに、磨かれる動きに「いいねえ!!」の賞賛の声がどんどん増えていきました。体育大会の前日は、多くの子どもたちが、緊張や高揚の気持ちを伝えてくれました。教職員も同じく、当日を楽しみにしていました。

私達、教職員は、大げさかもしれませんが、体育大会を通して、子どもたちの成長を感じ、人を育てる職務に就く尊さと職責の高さ、子どもたちへの感謝の念さえ抱くほどです。学校行事は、個々の非認知能力の伸長や技能の深化はもちろんのこと、単調になりがちな日々の学校生活に変化を与え、登校や学習への意欲・モチベーションを高める働きがあります。行事を経ることでクラスの団結力が高まり、その後の学級運営や学習活動全般に好影響を及ぼします。

あらためて、学校行事が単なる年中行事ではなく、集団生活の中で生きる力を総合的に高め、一人ひとりの個性や社会性を大きく開花させるための実践的な教育の場として重要な意味を持つことを感じました。

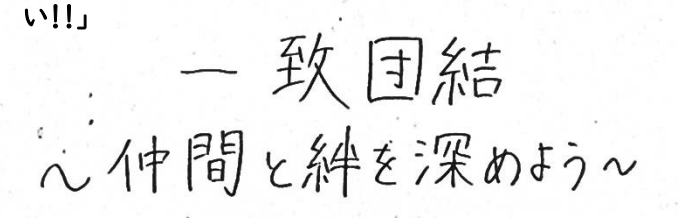
特段、今年度は、創立60周年という節目の年でもあり、時は流れ、体育大会のスタイルは変われど、変わらぬ立花西小学校児童のがんばりを地域の皆様にも知っていただくよい機会となりました。多くの地域の皆様に、子どもたちと先生たちへのお褒めの言葉をいただき大変、うれしかったです。自慢の子どもたちと自慢の先生たちを直にほめていただき、嬉しすぎて、謙遜することもなく「そうなんです。本当にすごいんです。よくがんばっているんです。」と声を大にしてしまいました。





6年生児童の体育大会メモに「アツい思い」と記して、以下のように書いてありました。

「見ている人が立西っ子は団結しているなと思う体育大会にしたい！絆を深めるきっかけの体育大会になってほしい!!」



記念すべき第60回体育大会は、主体的に児童が掲げたまさに、目標通りの時と空間になっていました。子どもたちも、先生たちも、みんな、本当に、よくがんばりました！
どうぞ、今後とも、応援のほど、よろしくお願いいたします。